松戸市教育委員会会議録

令和6年2月定例会

松戸市教育委員会会議録

令和6年2月定例会

開 会	令和6年2月14日(水) 午前9時30分	閉 会	令和6年2月14日(水) 午前12時15分	
署名委員	教育長 伊藤 純一	委 員	山形 照恵	
出席委員 氏 名	教育長 伊藤 純一	○	委 員 山形 照恵	○
	教育長職務代理者 武田 司	○	委 員 中西 茂	○
	委 員 伊藤 誠	○	委 員 和座 一弘	○
出席職員	内訳別紙のとおり			

提出議案	内訳別紙のとおり
特記事項	

教育委員会事務局出席職員一覧表

令和6年2月定例教育委員会

No.	部課名 及び 職制名	氏 名	No.	部課名 及び職制名	氏 名
1	生涯学習部 部長	藤谷 隆	21	〃 戸定歴史館担当室長	尾形 一枝
2	学校教育部 部長	石橋 聡	22	〃 補佐	横山 忍
3	生涯学習部 審議監	小林 清	23	スポーツ課 課長	安部 豪
4	教育総務課 課長	三根 秀洋	24	図書館 館長	大竹 英貴
5	〃 専門監	斉藤 政彦	25	〃 補佐	柿沼 範明
6	〃 補佐	内藤 秀明	26	学校財務課 課長	須田 聖子
7	〃 主幹	杉本 政裕	27	〃 補佐	野中 亮
8	〃 主幹	飯島 幸枝	28	〃 主事	中川 諄子
9	〃 主任主事	斉藤 晃	29	〃 学校給食担当室長	大谷 葉子
10	教育政策研究課 課長	秋田 敦子	30	〃 補佐	稲盛 恵一
11	〃 補佐	森 浩	31	〃 栄養士長	込山 明子
12	〃 主幹	植田 益規	32	〃 主査	田中 秋衣
13	社会教育課 課長	臼井 眞美	33	学務課 課長	西田 大助
14	〃 補佐	齋藤 雅代	34	〃 補佐	波多江 美奈子
15	〃 施設担当室長	清水 潤也	35	〃 主任主事	三輪 奈津美
16	文化財保存活用課 課長	関根 嗣人	36	〃 学校保健担当室長	大場 慶育
17	〃 補佐	若林 佐恵子	37	〃 補佐	飯島 雅子
18	〃 補佐	橋本 欣之	38	市立松戸高校 事務長	安部 豪
19	〃 博物館次長	染野 寿郎	39		
20	〃 補佐	加藤 尚美	40		

No.	部課名 及び 職制名	氏 名	No.	部課名 及び職制名	氏 名
41	学習指導課 課長	千葉 貴子	61		
42	〃 補佐	陰山 元宏	62		
43	〃 補佐	上田 芳子	63		
44	〃 補佐	高橋 宏樹	64		
45	児童生徒課 課長	中坂 正夫	65		
46	〃 専門監	壁 和宏	66		
47	〃 補佐	佐々木 亮	67		
48	〃 主幹	日野 裕介	68		
49	〃 主幹	初鹿 香	69		
50	学校施設課 課長	久保田 昭彦	80		
51	〃 補佐	永澤 郁雄	81		
52	〃 補佐	阿部 裕見子	82		
53	〃 主査	海老原 寿和	83		
54			84		
55			85		
56			86		
57			87		
58			88		
59			89		
60			90		

令和6年2月定例教育委員会会議次第

1 日 時 令和6年2月14日(水) 午前9時30分より

2 場 所 教育委員会5階会議室

3 議 題
議 案

4 その他

令和6年2月定例教育委員会会議 議題目次

(1) 議案

① 議案第33号

令和6年度教育委員会組織定数及び令和6年4月1日付
教育委員会職員（市費負担職員）に係る人事異動基本方針
の制定について (教育総務課)

② 議案第34号

令和6年松戸市議会3月定例会の議案（教育費予算）
に対する意見聴取について (教育総務課)

③ 議案第35号

松戸市教育委員会令和6年度主要施策について (教育政策研究課)

④ 議案第36号

令和6年松戸市議会3月定例会の議案（補正予算）
に対する意見聴取について (教育総務課)

⑤ 報告第9号

臨時代理による処分の報告について (学習指導課)

⑥ 報告第10号

臨時代理による処分の報告について (社会教育課)

教育長 傍聴についてご報告いたします。

本日の教育委員会会議に1名の方から傍聴したい旨の申出があります。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これを認めますので、ご了承願います。

なお、これ以降傍聴の申出がある場合は、事務局への受付をもって許可に代えることといたします。

それでは、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入室)

◎開 会

教育長 ただいまから令和6年2月定例教育委員会会議を開催いたします。

◎会議録署名委員の指名

教育長 開会に当たり、本日の会議録署名人を山形委員にお願いいたします。よろしくお願います。

◎議案の提出

教育長 それでは、日程に従い議事を進めます。

本日の議題は、議案4件、報告等2件となっております。

このうち、議案第34号、議案第35号、議案第36号及び報告第10号は、市長の意思決定に係る重要な事項に属する案件となります。

したがいまして、これらの審議を秘密会としてはいかがか、お諮りいたします。

それでは、松戸市教育委員会会議規則第13条の規定により決を採らせていただきます。

この後行われます教育委員会会議のうち、議案第34号、議案第35号、議案第36号及び報告第10号の審議を秘密会とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないものと認め、これらの審議は秘密会といたします。

なお、秘密会は議事録を取っていないところですが、議案第34号、議案第35号、議案第36

号及び報告第10号につきましては、記録を残したいと考えています。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないものと認め、そのように取り計らいます。

次に、日程の変更についてお諮りいたします。

ただいまの決定のとおり、議案第34号、議案第35号、議案第36号及び報告第10号を秘密会にて審議することとなりました。そのため、松戸市教育委員会会議規則第9条の規定により、議事日程の順序を変更することとし、その他につきましては、秘密会とした議案の前に審議したいと思えます。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないものと認め、その他につきましては、秘密会とした議案の前に行うことに決定いたしました。

では、ここからの議事進行は、武田委員にお願いします。

◎議案第33号

教育長職務代理者 本日は、議案が大変多くなっておりますので、限られた時間の中で円滑な議事進行に努めたいと思えます。ご協力お願いいたします。

それでは、日程に従いまして議事を進めさせていただきます。

初めに、議案第33号「令和6年度教育委員会組織定数及び令和6年4月1日付教育委員会職員（市費負担職員）に係る人事異動基本方針の制定について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

教育総務課長、お願いします。

教育総務課長 それでは、着座にて失礼いたします。

議案第33号「令和6年度教育委員会組織定数及び令和6年4月1日付教育委員会職員（市費負担職員）に係る人事異動基本方針の制定について」ご説明いたします。

提案理由といたしましては、令和6年度教育委員会の組織定数及び令和6年4月1日付教育委員会職員（市費負担職員）に係る人事異動を実施するにあたり、松戸市教育委員会の基本方針を定めるためでございます。

2ページをお開きください。

組織定数につきましては、令和6年度は事務事業の効果的・効率的な執行を継続するとと

もに、引き続き定員の適正化を図り、質の高い市民サービスの提供と健全な行財政運営の両立を目指したいと考えております。

続きまして、人事異動についてでございます。

令和6年度も様々な行政ニーズに的確に対応するため、幅広い視野と専門性を併せ持った多様な人材を育成します。また、組織としての力を最大限発揮できるよう職員のモチベーションを向上させ、生き生きと働くことができる組織を目指し、人事異動を行っていきます。

9番目でございますけれども、新しく項目が追加となっております。

令和5年度から定年が段階的に引き上げられることから、定年延長となった職員の能力と意欲を最大限に生かせるよう、適正な人事配置を行ってまいります。

簡単ですが、説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

教育長職務代理者 議案第33号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

伊藤委員。

伊藤委員 2ページの(9)の、今ご紹介のあった定年延長に伴う措置ですが、その最後の項目というか、その後半部分にある次の世代に、その知識や技術、経験を継承するような適正な人事配置を行うというのは、一般論では何となく分かるような気はするんですが、具体的に言うとうどういうことなんでしょうか。特にその知識とか技術を継承するということを念頭に置いた具体的な策というのは、具体的にはどういうことを考えておられるのか、お聞きしたいんですけれども。

教育長職務代理者 教育総務課長。

教育総務課長 今、伊藤委員からお話しいただいたとおり、職員として長年働いていただいた職員を、定年延長となっても引き続き、今まで培った能力とか経験を生かして、これを若い職員に伝えられるように、適正に人事異動をすることで教えていただくということで、適正な配置を行っていくという意味でございます。

以上です。

教育長職務代理者 その具体策についてだと思います。

伊藤委員 だから、全然それだと分からないんですよ。

例えばダブル配置ということができればいいですよ。それから、あと例えば、ポストにはちゃんと若い人をつけるけれども、そこに、何とかアドバイザーみたいな形で配置されるのか、何かそういうようなことであれば具体的な継承というのは、まさしく目に見える

ような気がするんですが、ちょっと具体的に何を考えておられるのかなというのが分からないので、具体策があればと思ったんですけども。

教育長職務代理者 教育総務課長。

教育総務課長 今、お話しいただいたようなダブルで、定数を例えば2人つけてというようなことは想定してございませんので、通常の業務の中でやっていただくということで、具体的なものは、特にございません。

伊藤委員 具体的にはちょっとやっぱり分からない。いろんなケースがあるのでしょうかね。だから何だろう、定年延長ですから、その人がそのポストにとどまるわけではないんですか。それともやっぱりポストにとどまるんですか。

教育長職務代理者 教育総務課長。

教育総務課長 この新しい制度は、役職も60歳から外れ、主査職になり、部長、課長であっても主査職になって働くということでございますので、そういった意味では、例えば、今まで管理職でありましたけれども、主査職として、班長として今まで培った経験を生かしていくということがございます。

伊藤委員 そうすると、今まであんまりそういうのはなかったのを、今回定年延長に伴って、新たな人事配置を目指すというような感じになるんですか。

教育長職務代理者 生涯学習部長。

生涯学習部長 今も再任用の職員が、各課、10年近く配置されておりまして、実際、自分も一緒に先輩方と所属長という立場で勤務をさせていただいたときに、やはりご経験とか、そのなってきた職務の内容が、特に若い職員と一緒にチームで仕事をすることで、伝えられる部分は非常に大きいというふうには感じておりました。

今回定年延長になることで、それが再任用という立場ではなく、職制が少し下がったりする中で継続して、実際の現場ですとか事業の中で一緒に携わるという場面が、さらに増えるということが想定されています。現実にも再任用の先輩方も各課に適切に配置をされておりますので、任用の形が変わりますが拡大していくイメージではあるかと、ざっくりですけども、考えております。

伊藤委員 分かりました。

教育長職務代理者 和座委員。

和座委員 そうすると、例えば部長とか、高い立場であれば、いわゆる職務権限とかいろいろとあって、上から下へという形で、いろんな形である程度命令系統というかな、ある程度の

権限を持っているということがあると思うんですけども、今回この延長という形で、そこから外れることによって、権限はないんですけども、ただ今度はチームの中で、1人の一員として、今まで自分が培ってきたいろんなことについて、若手と共に一緒になって自分の思っていることとかそういうものを伝えながらやっていくと、そんなイメージでいいんでしょうかね。

教育総務課長 そのとおりでございます。

和座委員 そうですか。分かりました。

教育長職務代理人 ほかにございますか。

中西委員。

中西委員 中西です。

(6) 女性職員の登用の項目なんですけれども、これは以前から恐らくある項目だと思うんですけども、管理職の登用を視野に入れ云々とあるんですが、これはここ数年でどういう変化があるのかというところを伺っておきたいんですが、いかがですか。

教育長職務代理人 教育総務課長。

教育総務課長 教育委員会の女性職員の管理職の登用でございますけれども、令和5年度は、女性管理職18名、率で言いますと32.7%でございます。その前の令和4年度につきましては19名、35.8%、令和3年度は17名で27.8%ということでございます。

以上です。

教育長職務代理人 よろしいですか。

中西委員 急激に増えるわけではないのでしょうかけれども、ほぼ現状維持の数字ということですか。

教育長職務代理人 教育総務課長。

教育総務課長 そうですね。

やはり力を入れているところではございますので、積極的に今後も女性管理職の登用について、積極的に図っていくところでございます。

教育長職務代理人 ほかに。

山形委員。

山形委員 山形です。

2の(7)の子育てや介護を行う職員が安心して業務に集中する能力について、ここ数年、会議の中でも働き方でお休みが拡充されたり今回もそういう項目が入っていてよかったなど

思うところなんです。議案と少しずれると思いますが、様々な背景がある中で、人事の配置はとても難しくなっていくと思います。様々な背景も全体理解しながら、松戸市教育委員会も松戸市の職員として皆さん関わっている中でメンタルヘルスの部分について、現在松戸市職員はどんなメンタルサポートがあるのかというのは一度聞いてみたかったので、もし分かる範囲で教えていただけたらと思います。

教育長職務代理者 教育総務課長。

教育総務課長 市といたしまして、教育委員会も含めてですけれども、メンタルヘルスの対策としましては、主に研修や医務室での相談、年に1回ストレスチェックを行っておりまして、フォローアップが必要な職員がいないかどうかとか、そういった分析をする研修をしておりまして、職場環境の改善に努めているところでございます。

以上です。

山形委員 ありがとうございます。

人不足の今、一人一人を大切にされることがとても重要だなと思ったので、確認できてよかったです。ありがとうございます。

教育長職務代理者 ほかございますか。よろしいですか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ないようですので、これをもちまして質疑及び討論を終結いたします。

これより議案第33号を採決いたします。

議案第33号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第33号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。

(説明者入替え)

◎報告第9号

教育長職務代理者 次に、報告第9号「臨時代理による処分の報告について」を議題といたします。

学習指導課長、お願いいたします。

学習指導課長 学習指導課長です。

報告第9号「臨時代理による処分の報告について」ご説明いたします。

松戸市教育支援委員会条例第4条の規定により人事異動により生じた欠員について松戸市教育支援委員会の補欠委員を委嘱する必要がありましたが、1月23日の委員会の開催までに教育委員会会議を招集する時間的余裕がないことから、教育長に対する事務委任規則第3条の規定により、次のページのとおり、臨時代理による処分をいただきました。

9ページに委員の一覧がございますのでご覧ください。

1号委員、教育委員会事務局職員として、旧委員、生島委員に代わりまして、学校教育部署務課、茅野真貴子課長補佐が新任となります。任期は令和5年1月23日から令和7年5月31日までとなり、前任者の残任期間でございます。

以上、ご報告といたします。

教育長職務代理者 報告第9号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑に入ります。

何かご質問ございますか。

よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ないようですので、これをもちまして報告第9号の審議を終結といたします。

◎報告等

教育長職務代理者 それでは、冒頭で教育長がお諮りしましたとおり、議事日程を変更し、秘密会の前にその他に移ります。

事務局より何か報告ございますか。

事務局 ございません。

教育長 チャリティーの説明をお願いします。

生涯学習部長 生涯学習部長でございます。

お手元の資料をご覧くださいと思います。A4横の令和6年能登半島地震復興支援チャリティーコンサートについてということでお配りしているものでございます。

こちらにつきましては、開催目的にございますように、先日の能登半島地震の発生を受けまして、市内小・中学校、高校の児童・生徒等による吹奏楽等のチャリティーコンサートを

開催し、被害の地域を支援していきたいということで開催をさせていただきたいと考えてございます。

概要のほうでございますが、主催は今申し上げたとおりの趣旨でございまして、公益財団法人の松戸市文化振興財団と松戸市教育委員会と共催ということで、開催をさせていただく予定でございます。

開催日時につきましては、今年の3月31日、森のホール21の大ホールで、1時から4時半ということでございます。

現在、想定して決まっている学校といたしましては、市内の小・中・高校9校でございまして、内容については合唱ですとか吹奏楽、ブラスバンド等で、記載のとおり東松戸小をはじめ県立小金高校、市立松戸高校等を含めて9校で開催をさせていただく予定でございます。

こちらの入場料につきましては、今チケットを1,000円で販売をする予定でございまして、3月1日に、観光協会の窓口ですとか森のホールで販売をするとともに、右側に書いてございますが、各種民間の団体、松戸商工会議所をはじめ法人会、ライオンズクラブ、ロータリークラブ等々にご協力を募っておりますので、特にそういった民間の様々な団体のお力をお借りしまして、盛り上げて、義援金等を募る予定でございます。

あわせて、当日、募金箱を会場においても義援金を募ってまいります。

窓口につきましては、文化振興財団とそれから教育委員会のほうが、左の下ですけれども、社会教育課が事務局をしておりますので、何かお問合せ、あるいはご協力のようなお話がもしございましたら、ぜひお寄せいただければと思っております。

右のほうですが、協賛団体、先ほど申し上げたとおり、これまでもご協力いただいております様々な市内の団体に、ご協賛を、今ちょうどお願いをしてご了解をいただいている最中でございますので、またこれから増えていく可能性もございます。

あした、市の定例記者会見におきまして、正式に発表を予定しております。広報まつど3月1日号にも掲載をする予定でございますので、ぜひ趣旨を鑑みまして、いろいろなPRですとかご協力にお力添えをいただければと考えてございます。どうぞよろしく願いいたします。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

教育長 私から一つ。

もう新聞に今朝載ったので、ご覧になった方いらっしゃると思うんですけれども、市立松戸高校の入試関係でミスがありまして、先週、応募人数とそれから倍率が載ったんですが、

実際466名のところを465名というふうに発表してしまいまして、1名なんですけれども、ミスはミスですので。県教委から昨日多分配信があったんですね。なので今日新聞に載ったと。今日とあしたが出願の変更期間なので、また人数は変わるんですけれども、公立高校の入試というのは、先週1度、出願者数が発表になって、それを見て受検する生徒が、ああここ高いから、やっぱり悩んでいてこっちに移そうかなとか、こっちに出願していたんだけど、やっぱりこっちを希望しようとか、そういう変更期間は今日とあしたあるので、また人数が変わると思いますけれども、そういうミスがあったという記事が今朝出ていまして、それについておわび申し上げたいと思います。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

委員の皆様からは何かございますか。

よろしいですか。

(発言の声なし)

◎議案第34号、議案第35号、議案第36号及び報告第10号

教育長職務代理者 それでは、これより議案第34号「令和6年松戸市議会3月定例会の議案（教育費予算）に対する意見聴取について」、議案第35号「松戸市教育委員会令和6年度主要施策について」、議案第36号「令和6年松戸市議会3月定例会の議案（補正予算）に対する意見聴取について」、報告第10号「臨時代理による処分の報告について」を議題といたします。

会議冒頭で教育長がお諮りしましたとおり、これからの議案審議は秘密会となりますので、松戸市教育委員会会議規則第14条第2項及び松戸市教育委員会傍聴人規則第8条の規定により、ただいまから申し上げる職員以外の職員と傍聴の方はご退出をお願いいたします。

お残りいただきますのは、生涯学習部長、学校教育部長、生涯学習部審議監、教育総務課長、教育総務課専門監、教育総務課課長補佐、教育政策研究課長、教育政策研究課課長補佐、社会教育課長、社会教育課施設担当室長、社会教育課課長補佐、教育委員会各所属の所属長及び説明員です。以上でございます。そのほかの方は退出してください。

傍聴人の退出、説明員の準備が整うまでしばらくお待ちください。

(指定職員以外及び傍聴人退席)

(以後、秘密会)

教育長職務代理者 議案第34号「令和6年松戸市議会3月定例会の議案（教育費予算）に対する意見聴取について及び議案第35号「松戸市教育委員会令和6年度主要施策について」を議題といたします。

本議案は相互に関係性がございますので、一括しての議題といたします。

それでは、説明をお願いいたします。

教育政策研究課長、お願いします。

教育政策研究課長 議案第34号「令和6年松戸市議会3月定例会の議案（教育費予算）に対する意見聴取について」と議案第35号「松戸市教育委員会令和6年度主要施策について」ご説明申し上げます。

まず、議案第34号、議案書の4ページにございますが、提案理由でございます。

市長から令和6年松戸市議会3月定例会に提出する令和6年度教育費予算議案作成に当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、意見聴取の依頼があったためでございます。

別冊の令和6年度教育費予算をご覧ください。

令和6年度の教育費予算は、歳入39億7,551万5,000円、歳出135億5,208万5,000円となっております。

次に、議案第35号、議案書の5ページをご覧ください。

提案理由は、松戸市教育委員会が令和6年度に行う主要な施策を「松戸市教育委員会令和6年度主要施策」として定めるためでございます。

別紙の松戸市教育委員会令和6年度主要施策案、横長のものがございます、こちらをご覧ください。

もう一つ別冊で、令和6年度主要施策予算資料対応表、このA3の縦のものがございますが、こちらをご用意いたしました。これは予算書と主要施策とは密接な関係がございますので、対応関係をご覧いただくため作成いたしました。

主要施策につきましては、指針である学びの松戸モデルの施策番号順に並べてあり、主要施策ごとに概要欄の一番下に概算事業費を記載しております。概算事業費には、需用費、委託料、工事請負費など、事業実施に係るおおむねの費用を記載しております。

なお、正規職員及び会計年度任用職員の人件費につきましては、職員が担う業務が多岐にわたり、各事業の実施に係る人件費を算出することが難しいことから、概算事業費には含めていないことをご了承ください。そういうものが「なし」と書いてあるところがございますので、ご了承いただければと思います。

また、A3の対応表は、概算事業費が予算書のどの部分に記載してあるのかを示しております。

これから別冊主要施策案を用いてご説明いたしますが、この対応表の記載内容をもちまして議案第34号の説明にも代えさせていただきます。

それでは、主要なものをご説明いたしますので、別冊、横A4の主要施策案、こちらのほうをご覧ください。

それでは、1ページ、こちらから視点のI、何を学ぶの視点を書いてございまして、2ページ目の上段をご覧ください。主要施策は歴史や文化に触れる機会の提供、(仮称)「出張ミニ美術館」の開催、文化財保存活用課の新規事業でございます。かつて松戸相模台にあった千葉大学工学部の前身である東京高等工芸学校出身のグラフィックデザイナーが作成した優れたポスター等を、小・中学校や社会教育施設に展示するとともに、ワークショップ等のプログラムを実施するものでございます。概算事業費は10万円でございます。

次に、次のページ、3ページ上段、博物館リニューアル基本構想・基本計画の推進、文化財保存活用課(博物館)の事業でございます。博物館の常設展示などのリニューアル整備に関する懇談会の開催、子どもミュージアムの展示設計委託を行うものでございます。概算事業費は45万3,000円でございます。

続きまして、次の4ページ目下段、企画展の開催、文化財保存活用課(戸定歴史館)の事業でございます。徳川昭武及び松戸徳川家との深いつながりのある津山松平家分家の貴重な資料を初めて公開するものでございます。概算事業費は511万4,000円でございます。

続きまして、少し飛びまして、10ページをご覧ください。

10ページの下段、多様なスポーツを楽しむ機会の充実、スポーツ課の事業でございます。多様なスポーツを楽しむ機会の提供とスポーツ施設の環境整備として、学校施設開放事業の充実に向けた夜間照明を設置するための設計委託、旧根木内東小学校にスポーツ施設を整備するための基本設計委託等を実施するものでございます。概算事業費は1億33万6,000円でございます。

続きまして、次のページ、11ページ上段でございます。グローバル社会に対応できる教育

プログラムの開発と推進（言語活用科の推進2024）、学習指導課の事業でございます。小学校英語分野では、1年生から積み重ねているジョリーフォニックスの取組を高学年でも継続することで、英語の読み書きの基礎固めに注力し、中学校との学びの接続をさらに強化するものでございます。日本語分野では、各教材を取り入れ、児童・生徒が自分の考え、思いを表現する喜びや楽しさを体験できるようにするものでございます。概算事業費は1億33万6,000円でございます。

続きまして、1枚飛びまして、13ページをご覧ください。

13ページの下段、感染症拡大防止、保健の保持増進等への発達段階に応じた学校保健指導の充実。学務課学校保健担当室の事業でございます。歯科医師会、薬剤師会と連携したフッ化物洗口事業の拡大、学校保健活動の充実に向けてまちっこプロジェクト等の医師会との連携を図るものでございます。概算事業費は474万9,000円でございます。

続きまして、16ページ、中学校給食の在り方の検討、学校財務課学校給食担当室の事業でございます。中学校給食の選択制や給食回数等の在り方について見直し、中学校給食をA、B統合メニュー、弁当から選択するものでございます。概算事業費は1,939万3,000円でございます。

続きまして、17ページからは視点のⅡ、どこで学ぶの視点が始まります。

17ページの上段、図書館整備計画の推進、図書館の事業でございます。図書館整備計画に基づき、知の拠点、生涯にわたる学びを支える拠点、地域コミュニティを支える情報拠点、交流から生まれる地域文化の創造と発展の拠点として、図書館機能を充実させ強化するとともに、このことを踏まえ、分館の機能や役割の見直しを検討するものでございます。概算事業費はこちらには記載してございません。

次に、次のページ、上段でございます。文化複合施設の検討、社会教育課の事業でございます。現在作成している施設の基本理念や機能などの考え方を示す構想案について、さらに内容を深めるため、市民に広く意見を聞き、新拠点ゾーン整備の進め方と整合を図りつつ、引き続き専門家による懇談会の意見を踏まえながら、構想として取りまとめるものでございます。概算事業費は513万6,000円でございます。

続きまして、かなり飛びまして、25ページをご覧ください。

25ページの上段、医療的ケア児等への支援充実、学習指導課の事業でございます。医療的ケア児の増加による看護師不足を補うため、看護師が複数校を巡回して医療的ケア児に対応する体制を構築するものでございます。概算事業費は266万2,000円でございます。

続きまして、28ページをご覧ください。

教職員の負担軽減による学校経営の充実、教育総務課の新規事業でございます。学校と教育委員会事務局との連絡便業務の一部を外部委託するものでございます。概算事業費は487万7,000円でございます。

続きまして、32ページをご覧ください。

32ページの中段でございます。学校施設の老朽化対策の推進、学校施設課の事業でございます。令和5年度に事前調査を行った7校のうち、小金北小学校の長寿命化改修工事に伴う実施設計委託を行うものでございます。概算事業費は2年間で1億271万1,000円でございます。

続きまして、34ページをご覧ください。

34ページの下段、大学進学サポート体制の充実、市立高校の事業でございます。予備校の講師による対面講座と動画配信をやめ、いつでもどこでも学べる学習コンテンツの提供と、学習状況が可視化されるツールを導入するものでございます。概算事業費は591万4,000円でございます。

続きまして、36ページからは視点のⅢ、どのように支えるが始まりますが、こちらの次のページ、37ページ、下段をご覧ください。

スクールソーシャルワーク事業を活かした教育と福祉・医療の連携、児童生徒課の事業でございます。スクールソーシャルワーカーを3名増員するとともに、小金地区に拠点校を移設し、市内全体をカバーするスクールソーシャルワークネットワークを整備するとともに、拠点型と派遣型を併用する本市独自の支援体制により、迅速かつ柔軟に相談活動を展開するものでございます。

以上、主なものをご説明いたしました。ご審議のほどをよろしく願いたします。

申し訳ございません、11ページの事業費でございますが、187万1,000円でございます。大変申し訳ございませんでした。

教育長職務代理者 議案第34号及び議案第35号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

質疑及び討論は、議案第35号「令和6年度主要施策」においては、視点を基準として3つに分けて、質疑、討論を行います。

議案第34号の教育費予算につきましては、関連する主要施策ごとに適宜質疑をいただければと思いますので、よろしく願いたします。

それでは、項目が多くなりますので、分割して行っていきたいと思います。令和6年度主要施策から、1ページから16ページまでの視点Iについての中で、質疑及び討論を行いたいと思います。

質疑に際しましては、ページの番号と主要施策の名称をお伝えいただければと思います。

中西委員。

中西委員 1つは、13ページの上段、自分の人権を守り他者の人権を守る実践行動ができる子どもの育成という施策の部分ですが、ここが結局、道德教育とか人権教育ということを柱にされているので、情報モラル教育が重点的に書かれていて、情報モラル教育と人権教育という言葉が出てきて、先ほど開会前に、松戸市情報活用能力体系表というのを、どこにあるんですかとお聞きして、青本に載っているというふうに伺ったんですが、何が言いたいかといいますと、ここに道德教育、人権教育ということかというと、モラル教育ということになっていってしまうと思うんですが、一方で、例えば、その前の11ページの言語活用科、グローバル社会に対応できる教育プログラム云々という、言語活用科の推進のところとの関係を考えて、要は何が言いたいかということ、モラルだけでいいのかという、情報に関しては。そこは非常に以前から気になっておりました、活用能力体系表というのも、かなりモラルの部分が割と全面に出ている感じはするんですけれども、それこそもう少し幅を広げて、デジタル・シティズンシップという考え方もあって、これはたしか松戸一中では研修なんかをされていたという記憶はあるんですけれども、そういう捉え方というのができないものか。今さらこれを組み替えるとかという話じゃないんですけれども、そういう発想というのはないのかということをお聞きしておきたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いします。

学習指導課長 ご質問いただきました、この松戸市情報活用能力体系表とその言語活用科の関連というところでございますが、この情報活用能力体系表は、文科省が作成した体系表の例を基に、松戸市版として、教育委員会で使用しているアプリケーションやソフトの活用を盛り込んで作成をしたものでございます。各学年の発達段階に応じて、身につけるべき基本的なキー操作技術や情報モラルを示しているところです。

確かにおっしゃるとおり、この先を見据えたとき、子どもたちはICTを道具のように使いこなす時代に生きる子どもたちですので、その中で、情報モラルはもちろんベースとして大変大事な資質能力であります。デジタル・シティズンシップ、そういった社会に通用できるような資質能力を身につけさせるということも、方向的には必要なものかなというふう

に捉えております。ご案内のとおり、今すぐにといいことにはいきませんが、そういった視座を盛り込んで、今後検討を進めていきたいと思ひます。

ありがとうございます。

中西委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 山形委員。

山形委員 山形です。

質問が4つと、意見を3つ述べます。

1 ページ目の1-1、文化財保存活用地域計画推進について、この部分が予算が2億円ぐらいあるところで、博物館リニューアル基本構想等々の中で、空調設備改修工事の着手というところがあるので、このために予算が大きくなっているのでしょうか。また、空調工事のときなど、休館などの予定はあるかというところを確認したいです。

1-1-1、マイセンコレクションについて、1か月間の開催期間の中でも1,000万円の予算がついておりますけれども、ほかの部分でも会期が長めで1,000万円いかなかった予算のものがあつたので、若干高いような感じがしますが、何か特別な費用がかかる理由があるのか教えていただきたいです。

1-2-1、1-2-2、学びの拠点の充実のところ、生涯サロンのような場所のリニューアルというところがありますけれども、若干予算が5,000万円とついていて高く感じるのは、生涯学習サロンは文化ホールのところにもありますけれども、実際行くとスペースがあるだけという現状のところですが、5,000万円ついているということは、そこに何か事業委託とかをして、NPOとかが運営するから、この5,000万円お金がかかっているのか、もしくは、その場所をきれいにするために物を買って、予算がかかるのかというところを知りたいです。

1-2、学びネットについての意見です。サイトがとても見やすくなって、分かりやすくなったんですが、イベントページが全く動いていなかったのて、改善が必要かと思ひます。ぜひよろしくお願ひします。

1-4-3の意見です。学校保健の充実について、生理用品を置いていただけなのは本当にありがたいことなんです。購入の際に、今の子どもたちが使っている現状に合わせたものを入れないと、サイズが小さいものが置いてある学校が結構多いというのを耳にしていますので、聞き取りをして、現状に合ったものを購入していただけたらと思ひます。

質問の最後になります。15ページの安全について、GPS端末の利用の声のフィードバック

クを、予算もつき継続するものなのでお願いします。体力の向上のところ、プール事業の委託という項目がありましたけれども、どのような形で行われるかというところを確認したいです。

以上です。

教育長職務代理者 順次お答えいただきたいと思います。

最初、文化財保存活用課長、お願いします。

文化財保存活用課長 ただいま山形委員からご質問のありましたご質問2点についてお答えいたします。

まず1点目、松戸市文化財保存活用地域計画の推進についてでございますが、主要施策に記載した概算事業費1億9,385万7千円は、博物館管理運営事業のほか、本課が担う全ての事業を合算しておりまして、文化財保護事業、旧齋藤邸管理事業、それから美術文化関係事業が含まれた数字でございます。

博物館の空調設備改修工事費用につきましては、継続費となりますことから、6年度の支出は予定しておりませんが、今のところ概算では8億5,696万6千円を見込んでおります。現在想定しておりますスケジュールは、令和6年度中に空調機改修工事に伴うインバーター等の設備の製作に取りかかります。その後、令和8年1月から10年12月までの3年間を休館とし、この間に、こどもミュージアムの工事ですとか常設展示のリニューアル工事に並行いたしまして、総合展示室の天井やトイレの洋式化、照明のLED化などを進めてまいる予定となっております。

続きまして、2点目、歴史や文化に触れる機会の提供、(仮称)「松戸市所蔵マイセンコレクション展」の開催についてでございますが、今回の開催に係る関係経費1,012万4千円では、委託料が821万1千円と大きなウエイトを占めております。特別な費用がかかる理由といたしましては、貴重なマイセン磁器が輸送中に破損することのないよう、安全かつ確実に元の所蔵者様のお宅から都内の美術品専用倉庫ですとか、会場となる戸定歴史館まで、美術品輸送専門業者による輸送を行うための経費として519万1千円を計上していることによるものでございます。

なお、令和4年度に開催いたしました美術展「松戸のたからもの」での支出額は963万7千円となっておりますので、過去の美術展と比較いたしましても、飛び抜けて高額になっているということではないと考えております。

以上でございます。

山形委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 今のにちょっと付け足していいですか。武田でございます。

戸定歴史館で開催するマイセンコレクションの件ですが、今ので妥当だというよりも、むしろ「松戸のたからもの」展のときも危惧していたことなんです。焼き物とかそういう壊れるものに対しての設置の距離感とかが非常に近いのがいつも気になっていました。戸定歴史館のほうにも免震の設備があつてこの金額なのかどうかというのが、逆に足りているのか不安に思ったので、付け足してお答えいただければと思います。

文化財保存活用課長、お願いします。

文化財保存活用課長 ただいま武田委員からご質問ありました免震の対策についてでございますが、もちろん戸定歴史館の展示室は、作りつけの展示ケースとはなっておりますが、やはりおっしゃるとおり大変貴重なものでございますので、今回備品購入費といたしまして、免震台を2台、80万円を購入する予定で、特に貴重なものはそちらに据えた上で、保護しつつ展示したいと考えております。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

社会教育課長。

社会教育課長 6ページの文化ホールの予算についてでございますが、記載の予算額は社会教育施設のうち文化ホール管理運営費の予算額を記載させていただいております。生涯学習サロン自体には運営委託費は発生いたしません。ビル管理に関わる負担金が含まれた金額でございます。

6ページには、文化ホールを学びの拠点としての機能を充実させるとともに、リニューアルに向けてという説明を書かせていただいております。具体的にご説明させていただきたいと思っております。来年度目指しているのは、経済部で実施しているパラダイスエア、これは外国人のアーティストを招聘し松戸で活動していただいているという事業ですが、そちらとの連携ですとか、松戸駅周辺活性化に関わる方々と連携いたしましての芸術の事業や、各種ワークショップなどを開催することを通じて、松戸の魅力創出に取り組んでいくということを考えております。

5年度も少々取りかかっておりまして、アート事業ですとか、3月にはZINEフェスという、ZINEはマガジンという意味で、自作の小冊子を集めたフェスティバルを、文化ホールで実施をする予定でございます。現在は、市民ギャラリーの多目的化の可能性ですとか、

様々な活用を市民を交えて一緒に考えていくということで、展示以外での文化ホールの活用方法の検討やニーズの把握などを行っている段階でございます。

以上でございます。

教育長職務代理者 学校保健担当室長、お願いいたします。

学務課学校保健担当室長 14ページのGPS端末の利用の声のフィードバックについてお答えいたします。

GPS端末購入支援事業につきましては、市内在住の全小学生を対象に、令和5年1月16日より本事業を開始いたしまして、開始から現在までの申請者の人数の累計は1,825名になっております。低学年だけで全体の76%の申請がございました。

本事業を活用された利用者の声といたしまして、共働きの保護者からは、「学校や習い事から一人で帰宅する子どもの現在地の確認ができるので、安心して仕事ができている」、また、「家族旅行へ行った先でも常時子どもの居場所が把握できるので、とても助かっています」などの声を多くいただいております。

今後も引き続き、子どもの安全と保護者の安心を確保できるよう努めてまいりたいと考えております。

以上です。

教育長職務代理者 あとプールの事業委託等お願いいたします。

学習指導課長。

学習指導課長 プールの事業のどのような形で行われていくかというご質問いただきました。

令和5年度についても、プール使用ができない2校、小金小学校と松飛台第二小学校で、民間のスイミングクラブを活用しての水泳指導委託を実施いたしました。回数ですが、小金小学校は合計56回、松飛台第二小学校は合計28回実施いたしました。この回数の内訳としましては、小金小学校は、各学年と支援級を2分割して実施し、全グループ4回実施いたしました。松飛台第二小学校は、2年生から6年生までは学年実施で4回ずつ、そして1年生は2分割して、やはり4回ずつ実施いたしました。

次年度については、現在プールが使用できていない根木内小学校の委託を考えております。

山形委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

ほかございますか。

和座委員。

和座委員 3つばかり質問させてください。

まず1つですけれども、ページ数としては10ページになります。多様なスポーツを楽しむ機会の充実というところなんですけれども、先ほどの説明ですと、夜間照明とか、あるいは根木内の東小学校のスポーツ施設を整備するためというふうなことでのお話が結構多かったような気がするんですけれども、多様なスポーツについては、前回の定例会かにかあったと思うんですけれども、市民からのアンケートで、一応どんなスポーツをしたいかというところで、圧倒的に多かったのがやっぱりウォーキングとか、あるいはランニングとか、あるいはサイクリングとか、非常に比較的簡単にできるようなことについての充実を訴えていたと思うんですね。

そういうことを考えたときに、ここにモルックとか、市民にさらなるニュースポーツを体験する機会という、簡単なバスケとかそういったものもありますけれども、もっとその前の段階のウォーキング、ランニング、サイクリングとかそういった部分で、例えば道路の部分での、幾つかのコースを設定して看板を作ってみるとか、そういったこともやはり必要かなとは思うんですね。そういったところについての、今後考え方というか、そこら辺のところをちょっと聞きたいと思います、1番目として。

それから、2番目なんですけれども、13ページの自分の人権を守り他者の人権を守るというその部分なんですけど、人権のことについては、もちろんしっかりと、みんなで勉強しながら、そういった意味で、生徒やあるいは教職員の中にそういったものを植え付けていくとか成長させていくというのはすごく重要だと思うんですけれども、方法論として、例えばこども基本法とかというものが制定されたわけですね。令和5年4月に試行されたんですけれども、これは非常にある意味では子どもの人権ということを考えてときに、特に人権の中でも子どもの人権ですよ、その部分についての基本的なバイブルみたいなものだと思うんですね。そういったものを、やはり憲法と同じで、しっかりと勉強する必要があるが僕は個人的にはあるのではないかなと思うんです。だからそういった意味で、こども家庭庁から分かりやすい説明のパンフレットも出ていますので、そういうものを含めて、具体的に勉強していくという方法もあると思いますし。

それからあとは、これはちょっと質問なんですけれども、やはり子どもの権利というのは、僕今までも何回も話しましたがけれども、4つあって、その中では4番目の参加する権利というのが、なかなか日本では浸透していないと。そういったことが非常に子どもの心の問題にも投影しているという話を、前にしたことがあると思うんです。そういったときに、参加す

る権利ということを実際に行うということが、権利を育む非常に重要なポイントではないかと思うんですね。今まで僕はいろんな教育委員会の方たちと、地方のほかの教育委員会の方たちと話す機会もあったんですけども、その際に、例えば子どものそういった提言を市長に直接話すとか、あるいはこども会議というのを開いたりして行ったりとか、あるいは1週間はそういうことについてみんなで討論するような期間を設けるとか、様々な形で子どもたちが実際にいろんなことを話すことが、実際に自分の社会を変えていくようなところにつながっていくというような参加する権利を行使していくということも、これは権利を育成する意味で非常に重要だと思うんですけども、そういった観点は今後考えていらっしゃるかどうか。あんまりここの中にはそういったものが含まれていないような気がするので、その点についてちょっとお話を聞きたいなと思います。

最後に3度目です。3度目は、その下の13ページの下です。感染症の拡大防止に関する提言です。

ここで医師会のまちっこプロジェクトに、こういうふうに言及していただいたことに感謝します。実際に、この間も教育長が来ていただきまして、我々やっているのをご覧いただいたんですけども、本当にありがたいなと思っております。その際、僕は子どもの皆さんに対して、特に私の仲間の先生が人間の命の尊さというものについて話をしていたんですね。ある程度講義形式で話すんですけども、その後、実はグループワークで、みんながサザエさんの20年後という設定で、波平さんが膵臓がんになってしまったということで、その場合にどうしたらいいかということを中心にみんなでいろんな立場で、フネさんの立場だとか、カツオの立場だとかで、それぞれの立場で、みんなでグループ討論しろと言ってみんなで話したんですけども、カツオは金持ちだからお金のことには心配ないだろうとか、いろんな面白い話が出てきて、グループワークをしているのは非常にいいなと思いました。そのときに周りの人たちが、例えば民生委員の人たちが中に加わっていて、ファシリテーターをやっていたんですけども、そういったことをしているのを見ていて、あっこれもやっぱり一つの地域で子どもたちを育てていくんだなという感じがしたんですね。そういった形で、いろいろとまちっこプロジェクトが進んでいるということで、僕も本当にありがたく思っております。

ここでポイントとして一つご指摘したいことがあるんですけども、この感染防止に関しては、常にこれも私が話すことですけども、今、子宮頸がんワクチンに関してはこれがなかなか進んでいなくて、特にこれが進まないことによって、非常にやっぱり子宮頸がんを将

来的に命を落とす女性が多く出てくる可能性が十分あります。そういった40代、50代の女性はやはり働き盛りであって、母親であって、そういう意味でその命が失われるということは、子どもさんにとっても非常に大きな打撃ですし、そういったことも含めて、こういったことについての子宮頸がんワクチン、ワクチン、あるいはMRですね。これは僕は小学校でもまだMRをやっていない、そういったお子さんが小学校に入ってきて、かつて10年ほど前ですが、松戸ではしかがすごくはやったことがあったんですよね。全国で放送されまして、NHKの取材を私受けたことがあるんですけども、そのとき痛切に感じたんですけども、やっぱりそういった予防接種をしていないお子さんに対して、実はそこがフォーカスになったんです。そういったお子さんというのは、様々な問題を持っているお子さん、家庭でもなかなか広報が至らないお子さんなんですけれども、そういうお子さんをいかにピックアップしてワクチンをしっかりとやっていくかということが非常に重要なんですよね。

そういうことも含めて、この感染防止に対しては、ワクチンに関しての様々な取組というものが、教育委員会を含めて我々の中でしていかなといけないのではないかというふうな、ちょっと問題提起なんですけれども、その点についてどうお考えなのかどうか、その点をちょっと聞きたいと思います。ちょっと時間が長くなって申し訳ございません。

以上です。

教育長職務代理者 スポーツ課長、お願いします。

スポーツ課長 10ページ下段の多様なスポーツの部分についてお答えします。

今、和座委員からお話がありましたが、気軽にできるスポーツ・運動として、ウォーキング等の例がございました。ウォーキングにつきましては、今回の予算で例えば距離を示す看板だとか、そういった整備というのはまず含まれておりません。ただし、今お話しした根木内東小、全体的、具体的な整備の内容はまだ決まっておりませんので、その根木内東小を整備するときに、そこの1周をすると何キロだとか、ランニング、ウォーキングコースを整備するだとか、例えばそういうことが可能性としては考えられるかなというのが一つ。

そして、あと運動公園につきましては、もう既に、野球場の周りを、陸上競技場の周りを歩くと1.5キロだとか、敷地を回ると1周何キロだとかということで、そのウォーキングの一つの距離の目安になるような取組を既にさせていただいております。そういうところで、身近な公園だとかということで、まずウォーキングやランニングしていただくときの目安だとかということでやっていただくというのが一つ考えられるのと。

あとこれはもう他部とのまた連携のお話になってしまいますけれども、これは例として、

例えばこれも松戸市に幾つか観光場所があると思いますけれども、そういったところに歩いて行っていただくことで、そのウォーキングをしていただくきっかけづくりだとか、あるいはそのさくら通りだとかそういうところについても、あそこで何キロだとか、そういった距離を分かるような発信をすることでウォーキングするような動機づけをしていくような取組も、今後併せてしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

和座委員 どうもありがとうございました。

ぜひそういうふうな、非常にありふれた場所であれば、そんなにお金はかからないと思うんですね。ですから、そういったところに予算をつけていただきながら、みんなが楽しくウォーキングしたりランニングしたり、あるいはサイクリングしたりできるような環境をぜひつくっていただければと思います。私もあの付近を歩いていて、東漸寺とか含めて、自分で勝手にコースをつくって歩くんですけども、それはそれとして楽しいので、そういった何かひな形みたいなものをつくっていただきながら歩けるといいなと思います。ありがとうございます。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いいたします。

学習指導課長 13ページの人権について、ご意見ありがとうございます。

令和4年12月に生徒指導提要が改訂されまして、生徒指導といいますと、何となく昔ながらの校則は、とか髪型は、とかそういうイメージだと捉えがちなんですけど、この提要の改訂によりまして、ベースにはやはりこども基本法が發布され、これまでの生徒指導よりも、より積極的な生徒指導、その中でやはり児童・生徒の権利の理解という言葉もあります。

今、委員からご案内いただきました、子どもたちが例えば市政に対する意見表明をという機会は教育委員会ではないのですが、市長部局のほうでこどもモニターという制度があって、学校の代表の子どもたちが直接に市政についての意見を言う場というのはございます。

また、各学校においても、例えば今回、校則等、この生徒指導提要の改訂によって校則の捉えが変わってきて、子どもたち自身が、自分たちで学校のそういったものを考えていこうという動きが、中学校中心にあります。そこでは例えば、学年で全体で集まって議会のような話合いの場を設けたり、そして、生徒会の役員たちが積極的に動いたりというふうに、いきなり市政へ意見とはいかないのですが、自分事として、自分たちの学校のことを考えようといった流れというのは、こども基本法が定まってからの潮流として起こっております。

また実は、昨日、「SDGs Expo」というものを本課が開き、そこで学校から12千

ームの先生方が来てくださってプレゼンをした中に、子どもたちが自ら考えて動いたという
ような活動の報告等もいただいて、SDGsの17の目標を自分たちで課題意識を感じて、自
分たちで考えてそれを発表するというような実践を見せていただきました。各学校でそうい
った取組を行って来ているんだなということが見て取れました。

今いただいたご意見は大変重要なことですので、来年度予算のところではいつものリーフ
レットです。しかし、毎年小学校5年生全員に配っている子どもの人権リーフレットを基に、
道徳教育と同じように、日常のありとあらゆるところで考えさせることが大事なことだと捉
えております。

ありがとうございました。

和座委員 ありがとうございます。

私もそういうふうな自主的なものを、子どもさんの気持ちを育んでいくということが、実
はいじめとかあるいは不登校とか、そういったものをなくしていくという実は研究も出てい
るんですね。だからそういうことも含めて、子どもさんたちが様々な形で、自分が加わっ
ているんだと、そういった気持ちを育てていくことが多分重要だと思うし、先ほど言ったよ
うな選挙の話なんかも、この間ちょっとテレビを見ていましたら、実際に選挙を、予備選挙を
するというので、市議会の何人かの理解のある方が立候補して、実際にこのまちをどうし
ていけばいいかということについての議論をして、選挙管理委員会も実は本当の選挙管理委
員会がちゃんと出て、子どもたちが投票するというのをやっているのが出ていました。

そのことで、子どもたちは非常に本当に斬新な意見を言って、そういったことが、多分こ
の子どもたちがまた大きくなったときに、多分政治に関して、今はあんまり関心がないとよ
く言われているんだけれども、多分関心を持つような大人に育っていくんじゃないかなとい
うふうな期待を僕は持ったんですね。そういうことも含めて、ぜひこれからも続けていただ
ければと思います。ありがとうございます。

教育長職務代理者 学校保健担当室長、お願いいたします。

学務課学校保健担当室長 和座委員からの子宮頸がんワクチンと、あとMRのワクチンの関係
についてご質問ございました。

子宮頸がんワクチンとMRワクチンの接種の必要性というものは、我々も十分認識して
おります。ワクチンの必要性を学校にいかに周知していくかということが大切だと考えて
おります。啓発チラシの予算等は我々持っておりませんが、学校と関係課と連携して、啓
発活動という点でご協力させていただければと考えております。

以上です。

和座委員 分かりました。どうぞこれからもよろしくお願ひします。ありがとうございます。

教育長職務代理者 伊藤委員、お願ひします。

伊藤委員 1つだけ。11ページのグローバル社会に対応できる教育プログラムの開発と推進ということなんですが、このTESOLは、3期にわたって、先生方がもう既に研修を受けて、戻ってこられて、その効果が出ていると思うんですが、この先生方が、松戸にある20の中学校のほぼ全てに現時点で配属されているのか、あるいはもちろんデセミというか、いろんな先生方に伝えて、その波及効果も出ていると思うんですけれども、その実際の、これまでの効果をどう評価しておられるのかというのを聞きたいのと。

あとそれを踏まえて、今後どういうふうに、これだけ項目を挙げられているんですけれども、特に予算としてはないので、次の研修があるのかどうか分かりませんが、これを継続していけるのかという、その辺の考え方をお聞きしたいんですけれども。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願ひいたします。

学習指導課長 TESOLについてご質問をいただきました。

私たち配置の課ではないので、ちょっとどこにどう配置されているのかというのは、この場で答えるのが難しいのですが、3期にわたってオーストラリアに2度派遣し、昨年度はコロナのために派遣はオンラインという形で行いましたが、この方たちには、活動は、例えば中学校の英語研修会でどういった研修を行ったかというような形で、先生方に対してその実践を広めてもらったり、そして今年度までは、言語活用科の英語分野の中学校のTESOL部門の指導案、こういったものを作成していただいて、昨年度はそれを周知して使っていたくというふうなことでございます。

このTESOLは、ご案内のとおり英語の教授法ですので、決まったテキストをという形ではないのですが、この研修生たちによるそういった考え方を、様々な研修とか、そして各学校で実践する中で、徐々に徐々に広まってきているという実感はございます。

また、これまで言語活用科英語分野は、どちらかといいますと小学校のほうに注力してきました。ジョリーフォニックスでかなりな効果がやはり高く、そして先ほど説明しましたが、今回高学年でも継続していくということ、それで総括をしていくということも考えております。そして大事なのは、やはり小・中の接続だと思っています。だから小学校と中学校がまず英語でしっかりと接続をして、小学校で英語を本当になめらかな発音で楽しく学んできた子どもたちが、中学校1年生の中1ギャップとしては、いきなり文法というものがくっと落ち

るというのは最初の実は問題意識だったので、そこをこの新しい言語取得法であるTESOLを入れていくことによって、そのギャップを埋めたり、そして松戸独自の英語教育を完結するために、来年度もその研究を進めていくつもりです。

予算がありませんが、今回、派遣の予算は取っておりませんので、一応3期で、この結果をもって、これからこの一生懸命勉強した先生たちを中心にして浸透させていくという段階に入るということを想定しております。

教育長 付け加えますと、3週間ばかり前に、神田外語大で英語の小・中連携を研究されている方が、東部地区の中と小を、授業と、それからいろいろ検査をしたりしてもらったんですけども、その際に、各地の小・中連携、英語を見させてもらっているけれども、これほど上手に連携して効果が出ているところは初めてですというふうに意見をいただきました、ということです。

教育長職務代理人 武田です。

私から、10ページの上の段、パラアスリートへの支援というところで、どのように選出していらっしゃるのかということと、あとどのような競技の方へというのが気になります。あと事業費がぴったり100万円ということで、これは一支援事業に対してなのかという、その数の部分ですね、お知らせいただければと思います。ちょっとこの内容が知らなかったので、知りたいと思います。

あともう1個は意見ですが、先ほど来出ている人権のところ、13ページの上段ですが、これは自己決定の場を与えるというのは、ないものを与えるというのでよろしいかと思うんですが、自己存在感を与えるというのは、児童・生徒には適合しうるかもしれませんが、教職員に対しても対象者となっておりますので、ちょっと当たらないかなというところで、「深める」とか「意識させる」とか、何かちょっと文言を精査してもいいのかなというふうに感じました。

以上です。

スポーツ課長、お願いします。

スポーツ課長 パラアスリートの支援についてお答えいたします。

まず選出方法ですけれども、選出方法は、千葉県が指定しますパラアスリート強化支援事業の対象選手の中から松戸市在住の選手を選出しております。

次に、選出の競技の部分ですけれども、こちらにつきましては、来年度千葉県が指定するパラアスリートの強化支援事業の対象選手が、現在決まっておりますので、現時点では未

定です。

それと100万円というところですが、こちらにつきましては、選手1名に対して10万円というところで、延べ10人分の予算を取っております。

今お話ししましたこの事業につきましては、奨励金ということで、どちらかという活動に対する経済的な支援、金銭的な支援の側面が非常に大きい部分ではありますが、他方そちらの10ページの下段の部分に関わる部分になりますが、先週の日曜日に、「生涯スポーツ×パラスポーツ」のイベントを実施いたしました。そのときに、車椅子バスケットボールの選手、プロの選手2名にもお越しいただいて、市民の皆さんも含めて車椅子バスケットボールを経験したり、あとその選手と触れ合っていたりという活動をしていく中で、車椅子バスケットボールの選手と市民の皆さんが触れ合うことで、間接的にそういう選手を応援するだとか、改めてそういった障害スポーツに対して理解をしていただくということで、そういった部分での支援、応援というのも、この事業ではないですが、関係するものとしてやっておりますので、そういうことをトータル的に考えまして、そのパラアスリートの支援を今後していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

次に参りたいと思います。

ここで一旦休憩を入れて、5分後、11時からの再開といたしたいと思います。

(休憩)

教育長職務代理者 それでは、11時となりましたので再開したいと思います。

(再開)

教育長職務代理者 次に、17ページから30ページまでの視点Ⅱ-1とⅡ-2についての中から、質疑及び討論をしていただきたいと思います。

山形委員。

山形委員 Ⅱ-2、幼児教育と小学校教育の学びをつなぐのところ、これも毎年、例年あると思いますが、具体的に毎年改善というか、どのように行われているかをお答えしていただきたいです。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いいたします。

学習指導課長 22ページの幼保小連携の具体的な今の現状をお答えいたします。

まず、松飛台小学校では、今年度、空き教室を活用し、いつでも近隣の保育園の子どもたちが来れるように整備し、そこに何回か子どもたちがやってきて、小学校生活を模擬体験する取り組みを企画しました。他の学校でも小学生が林間とか宿泊旅行とか行ったときの空いた教室に、近隣の幼稚園生が幼稚園の先生と一緒にやってきて、教室探検の名目で、小学校ってどんなところ、というような体験ができるよう、数校で行っています。

以前は中1ギャップと言っておりましたが、最近は小1ギャップというようなことも言われていて、その小1ギャップを少しでも埋めるために、小学校というのはこういうところだよという夢を膨らませるじゃありませんけれども、そういった体験の場として、幾つかの学校で、まちの土地的な問題もあるので、全てじゃないんですけども、やっぱり近接している学校ではそういった実践体験が行われています。

山形委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 ほかに質問等ございますか。

和座委員。

和座委員 2つあります。

1つは23ページです。効果的な指導方法の構築及び地域連携による部活動の抜本的な改革というところなんですけれども、これも私が度々申していることなんですけれども、部活動の指導の中で、確かに非常に一生懸命やっただいて先生たちご苦労も、非常に私たちとしてはそれを評価しておりますし、ありがたいなと思っているんですけども、ただそれが子どもの発達の段階の中で、しっかりとした形での、医学的な部分での指導方法からちょっと逸脱してしまって、そのために、実際に小学校や中学校の子どもたちが、整形外科の我々の仲間の先生なんか話してくれるんですけども、やはりそういったところで、膝だとか肘だとかのところのいろいろな障害を持つてくるとふうな例があるというふうな話があるんですね。そういったところに対しての取組ということ考えたときに、やはりしっかりとした形での指導法に関しての研修会とか、あるいは場合によってはマニュアルとかそういったものが必要じゃないかなというふうに思うんです。

この話は、一般的に言って、今の先生たちの中では比較的しっかりとできているのかもしれないんですけども、もう一つ、今、外部化というのがありまして、地域団体との連携強化というのがこの文面の中にありますけれども、小学校の段階で、本当に野球に特化して、ずっとチームの中で、子どもに対して野球のことについてかなり強く訓練をするというそう

いった一面があるんですけども、そうすると子どもは、ちょうどその時期というのはゴールデンエイジといいまして、神経系統が非常に発達する時期なので、この時期はできるだけバラエティーに富んだ運動をしないといけない時期だと、医学的には考えられているんです。

ところが、あまり一つの種目だけに注目してしまって、あまりにもその段階にあまりにも多くのことをしてしまうと、将来的にその子どもが非常にある意味では、発達の部分で大きな障害を持ってくるということが知られているんですね。ところが、実際にそういったことに関して、外部化することによって、比較的そういったことについてあまり知らない民間の指導者がそういったことをやって、いわゆるクラブ活動として様々な形で、ある意味では成績はそのときは一時的にはいいのかもしれないけれども、実は非常に将来的に大きな問題をはらむような子どもたちをつくっていくということがあるわけです。

だからそういうことも含めて、やはり今の現時点においても、僕はやはりこういったことについての認識は非常に持つべきだと思うし、同時に、これから外部に対して様々な形でこれが広がっていったときに、その指導者たち、民間の指導者たちも含めて、そういうふうな障害、発達に向けての専門的な知識を持った形での指導がしっかりと行われるかどうかというのは非常に危惧しておりますので、その点についてのご意見をここで聞かせていただければというふうに思います。これが1点目です。

それから、2点目ですけども、2点目は医療的ケア児への支援の充実というところです。ここでは、看護師不足を補うために看護師が複数校を巡回して、医療的ケア児に対する対策を構築するというそういう部分については、私も非常にこれからそういった形で予算を取っていただくのはありがたいなと思うんですけども、もう一点、ちょっと考えていただきたいことは、医療的ケア児の場合は家族が非常に大きな負担を持つんですね。介護が非常に大変で、自分の仕事はかなり制限されるということもある。それから、精神的な部分でも非常に様々なストレスがあるわけです。そういった人たちに対して、国立療育医療センターなんかやっていますけれども、いわゆるショートステイとかデイケアとかという形で、家族丸ごと、その子どもたちを、1週間とかある程度期間をその施設で過ごすことで、専門家たちがその子どもたちに対してどんなケアをするかということをお示ししながら、やっぱり母親や父親たちのカウンセリングも同時にするというような事業をやっているんですけども、将来的にそういった事業も含めて、松戸市で取り組むといいなと私は思っているんですが、その点についてのご意見とかもお聞かせいただければと思います。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

スポーツ課長、お願いします。

スポーツ課長 まず部活動に関連して、外部化した場合のその指導者の育成といいますか、その部分についてお答えをいたします。

子どもの健全な成長、育成というところで、1つの種目に偏ると場合によっては成長に影響があるというお話でした。これはスポーツの指導者としては共通の理解というか認識をしている方が多いかなとは思っています。ただそれが、全てのコーチにそういった考え方が浸透しているかという、そうでもないという部分はあると思います。

今現状の話といたしましては、スポーツ協会のほうで、スポーツ少年団という組織が中にあるんですけれども、そういったところで、スポーツ指導者の養成講座をやっておりまして、中身がどれだけ成長の部分に触れているのかというのは、すみません、ちょっと今情報としてありませんが、例えばそういう場を利用して、成長の部分にこういった弊害といいますか影響があるということをお知らせすることで、きちんとした指導につなげるというやり方が一つはできるのかなということと。

あと例えばですけれども、サッカーなど全国、県、市できちんとしたピラミッド型の指導体制がなされているところについては、私の知る限りではきちんとそういう指導方法がなされているという認識でおりますので、そういったところも含めてですけれども、子どもの健全な成長につながるような、指導につながるような講座等について、手前どものほうでできるような情報提供等を今後していきたいというふうに考えております。

以上です。

和座委員 ぜひよろしくお願いいたします。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いします。

学習指導課長 今ご質問いただいたことにつきましては、私も実は先週の金曜日の夜に行われた障害福祉の方で行っている会議に呼ばれ参加してきました。そこでは、医療的ケアの関連の事業者さんとか、相談機関とか、教育委員会は私のみでしたが、市全体の特に切れ目ない支援を話し合いました。今、委員のおっしゃったようなレスパイトの考え方とか、あとは通園できない子ども、それから医療機関になかなかかかりづらい子どもたちへのケアということで、いろんな立場の人からの意見交換をしたところです。

我々教育委員会が管轄しておりますのは、あくまでも小・中学校に通っているお子さんに対する医療的ケアですので、その観点からすると少し範囲が広めでしたが、その場ではみんな

なでいろんな手でいろんな目で、みんなで支援をしていきたいと思いますというようなそういった意見交換をしました。

和座委員 分かりました。

直接関係ないかもしれませんが、そういった視点を持っていただきながら取り組んでいただければというふうな、そういった要望です。よろしくお願いします。

教育長職務代理者 中西委員。

中西委員 中西です。3つほどお願いします。

1つ目は、21ページの下段ですけれども、今後の学校に関する調査研究という施策ですけれども、これ説明を読んでも何を検討されるのかちょっと分かりづらいので、もう少し何か現段階でのイメージを伺えればと思います。

2点目が、24ページの中段、学校図書館の充実ですが、子どもたちの読書を進めるのに司書の役割というのは非情に大きいと思うんですけれども、ここで2校に付1名配置の実現とあるのは、今回で2校に付1名というのが、新年度の予算で実現するというのでしょうか。あと2校に付ということは、日を分けて全校に司書が何らかの形で配置されるということになるのでしょうか。その確認です。

3つ目は、26ページの下段ですけれども、ストレスチェックを活用した教職員のメンタルヘルス対策の推進ですが、いわゆる個々人にストレスチェックのシートを渡してそれを出すというのは、もうどこでも広がっていると思うんですけれども、大事なのは学校産業医の役割というのがすごく重要だということが、特に課題を抱えている先生にとっては大事だというふうな話も聞くのですが、こういう希望面談というのはどの程度行われているのか、何かアバウトでもそういうイメージが湧くような数が分かればと思います。

以上です。

教育長職務代理者 教育政策研究課長、お願いします。

教育政策研究課長 今後の学校に関する調査研究についてですが、昨年度も分かりにくいということでご意見をいただきまして、またそのような形で書いてしまって大変申し訳ないんですが、こちらにつきましては、20年後、30年後の学校がどのようにあるべきかというものを目指して、国ではSociety5.0の時代を子どもが生き抜くために何が必要かという形で、いろいろな教育がなされているところがございますけれども、そういう漠然としたいろんな問題を取り上げながら調査研究を進めていくというようなことが内容でございます。

令和5年度につきましては、学校に求められる教育やそれを実現させる学校施設などの先

行事例を見てきたりしまして、あとは長寿命化の工事に当たって、そういう事業がなされる場合に、長寿命化でもどういう設備ができるのかというようなこと考えたり、近隣でも長寿命化は柏でもやっております、あるいは流山市ではかなり先進的な小・中学校がございまして、そちらの視察などを行いました。

また、令和6年度につきましても、こういうような視察や情報収集を継続しながら、本市としての考え方の整理について当たっていきたく。また、予算につきましては、懇談会のほうを今年度もやる予定だったんですけども、ちょっとまだ開いておりません。懇談会などで広く意見を聞いたり、あるいは庁内の中でもいろんな関係課がございまして、庁内検討会議を開いて連携を深めて検討をしてみたいというふうに考えております。

以上でございます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

中西委員 これはあれですか、何年間かで何かをまとめるようなものなのか、その点はいかがですか。

教育長職務代理者 お願いします。

教育政策研究課長 特に期限というのはございませんで、いろんな課題が様々出ておりますので、それに対応していきたいというふうに考えております。

中西委員 分かりました。

教育長職務代理者 次でよろしいでしょうか。次、お願いいたします。

学習指導課長、お願いします。

学習指導課長 学校図書館司書の配置は、国は1.3校に1人というところを目標値として示していますが、令和5年度松戸市では32名の配置でしたので、目標には到達していないという状況がありました。

次年度もこの目標を達成すべく要求したところなのですが、現状維持という査定の中で増員は叶いませんでした。ただ、配置の日数は増やせそうなので、中身の充実で何とかしていきたいと思います。

中西委員 ということは、実現というのはまだここでできるわけではなくて、まだ将来的な。

学習指導課長 はい。32だとそうなります。33だとちょうどいい感じになります。苦肉の策で小学校と中学校の配置の割合を変えているので、実は小学校は23名配置して、中学校は9名ということで傾斜させて、何とかならしているという状況の中です。

中西委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長職務代理者 学校保健担当室長、お願いします。

学務課学校保健担当室長 26ページの下段ですかね、メンタルヘルスチェックの件でございますが、まず目的といたしましては、ストレスチェック等を実施し、教職員がメンタルヘルスの不調を未然に防ぎ、検査結果を教職員にフィードバックすることで先生方自身のストレスの気づきを促すものとなっております。

その中で、高ストレス者として判定された方が、例えば令和4年ですと201名おります。そのうち面談を希望された方というのがお一人だけとなっております。

高ストレス者の個票の中に、面談が受けられますというお手紙が同封されているのですが、様々な理由で面談希望者は少ない状況となっております。それは一つの課題としても我々捉えております。

今後もストレスチェックの目的だとか実施する意義だとか、そういったものを明確にして、周知を広げられるようにしていきたいと考えております。

以上です。

中西委員 割と、学校の先生はこうだというのはよく耳にはするんですが、1人というのはちょっと驚きました。

教育長職務代理者 教育長。

教育長 これ1人というのは、200人のうちの1人でしょう。これはすごく大きく受け止める必要があると思うんですが、つまりテストそのものがあまり意味がないのか、それとも、テストしたんだけど、受けるということについて非常に強いバリアがあるのか、いずれにしても、これは相当分析してしっかりとした対策整えないといけないのかなという感じがするんですが、いかがでしょうか。

教育長職務代理者 学校保健担当室長、お願いします。

学務課学校保健担当室長 委員の皆様おっしゃるとおり、そういった自分のストレスに気づいて面談を受けるというのは必要だと思うんですけども、このストレスチェックの目的というのが、ストレスチェックをして、先生方自身がまずはストレスに気づいていただきたいというのが一つの目的でもありますので、その先には面談も受けていただきたいという気持ちはございますが、まずはストレスに気づいていただきたいと考えております。

以上です。

教育長職務代理者 よろしいですか。

今後よろしくお願ひしたいと思ひます。

和座委員、お願いします。

和座委員 ちょっと簡単に、今のことと関連するんですけども、一つ、17ページの図書館の整備なんですけれども、いろいろ中央図書館というか本館の今後のあれも絡んでいて非常に難しいと思うんですが、一つの明らかな方向性としては、地域館をつくるというのは、要するに分館とは別にちゃんとしたいろんな機能を持った、人も多く配置されるようなのを増やしていくというのは非情にいいことだと思うんですけども、それとの関係で分館が、実態を見てみると、やっぱり場所も限られているし、いわゆる地域センターの中に図書館がちょこっとあるようなのが実態だと思うので、なかなかその分館の機能とか役割を高めていくというのは、非常にいろんな意味で難しいのかなとは思いますが、その中でどういう、見直しという以上は、どういう方向性をもっと強化していくのか、いろんな方向性を出そうとしているんだと思うんですけども、その辺のところを、現時点の状況をお聞きしたい。

それから、21ページの今議論されていた学校の在り方なんですけれども、基本的には、いわゆる開かれた学校というか、そういう地域に開かれているという学校を目指すのは、方向性等は出ているので、その辺のところを踏まえて、学校の施設の在り方とか求められる機能というのは、何年もかけてこれから議論するようなことではなくて、もう方向性は出ているので、あとは個別にこの地域の学校をどういうふうにしていくのか、あるいは何かもう少しスピード感を持って、いわゆるどっちの方向に行くのかというような議論するような段階では、もう僕はないと思うので、もうちょっとスピード感を持って、何か進めていいんじゃないかなというような感じはしますが、これはもう私の独善であればしようがないんですけども。

それからもう一つ、最後、22ページの「にほんごルーム」なんですけど、これ非常にいい試みで、恐らく大きな効果を上げておられると思うんですけども、もう既に複数の学校に設置されていて、その中から拠点校をつくって、それがつくれないところとの通級システムを構築するという事なんだろうと思うんですけども、現状、一体幾つできていて、その辺のところをどういうふうにするおつもりなのかというのをちょっとお聞きしたんですけども。

以上です。

教育長職務代理者 図書館長、お願いいたします。

図書館長 17ページ上段の図書館整備計画、分館の在り方だと思います。

現在、松戸市の分館は市内に18か所ございます。日常生活圏内にございまして、その館の

本だけでなく他の館の資料、本も受け取れるなど、市民の皆様からも身近で使い勝手がよい図書館として認知され利用されているところでございます。

ご質問のありました分館の機能や役割の見直しではあるんですけども、そのような利便性に加えて、今現在、市全体で蔵書数が多くない中、今、分館自体が蔵書の保管機能を担っている状況なんですけれども、今後の中央館や地域館の整備状況等も踏まえながら、どのような形が望ましいかを検討してまいりたいということでございます。

以上です。

教育長職務代理者 教育政策研究課長、お願いします。

教育政策研究課長 21ページの今後の学校に関する調査研究でございますが、スピード感を持ってやることは大切だというふうに考えております。ただ、いろいろセミナーですとか現地視察に行きますと、やはり個別にという点で工夫しなければいけない点、それから建物だけではなくて設備とか、あるいは図書館の在り方とか、特別教室の在り方とか、様々な面でまだまだ研究していかなければいけない部分があるというふうに感じております。

また、施設面だけではなくて、やはり教育のやり方とかそういうところも含めて、今後の児童・生徒さんがよりよい学校生活を送れるような在り方とか、そういうものを検討していく上ではもう少しお時間をいただければというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

教育長職務代理者 学習指導課長、お願いします。

学習指導課長 現在の松戸市教育委員会での日本語指導、支援についてなのですが、まずこの「にほんごルーム」は、小学校の今年度は11校に設置しております。そこでは、特別の教育課程、年間10時間が280単位ということで、それを標準とする授業をそこで指導が行われております。そのほかの学校については、日本語指導支援スタッフによる取り出しによる支援で対応しております。

そして、現状ですが、コロナが明けて、松戸市には外国の方が多くいらっしゃるようになりました。当然ですけれども、その方たちのお子さんたちが大量に松戸市の小・中学校に押し寄せているという言葉が過ぎますけれども、5年前に比べますと、日本語支援が必要な児童・生徒について統計を取ってみたところ、12月末現在で2倍です。ですので、今まではこのルーム設置以前は全てこちらから日本語支援スタッフ、有償ボランティアさんを派遣する仕組みで何とかしていましたが、それはもはや立ち行かなくなるということが歴然としております。現状申し上げますと、既にもう、「にほんごルーム」設置以外の学校には派遣で

きないというような状況となっております。私どもとしては、学校のSOSは頻繁にかかってきて、それに対応できないじくじたる思いをずっと抱えておりましたので、今後の方向性としては、やはりもう仕組みそのものを考え直したい、と考えております。

この「にほんごルーム」はそのまま軸として展開をし、先ほど委員さんおっしゃってありましたように、市内のほぼ中央部にある常盤平第一小学校に拠点を設けて、4月からスタートというのはちょっと難しいかと思いますが、通級できるような仕組みを整えて、例えば今まで対応できなかった日本語指導支援スタッフ派遣がかなわない学校とか、あるいは入国間もない子どもたち、非常に困難な状況にある子どもたちを、何とかそこですくい取るような仕組みをつくるということを、まずやっていきたいと思っております。

それと同時に、今までの支援スタッフの派遣方法についても見直しをかけないと、もうどうにもならない状況になっていきますので、この辺についても見直しをかけて、新しい支援の仕組みをつくっていくことを計画しております。

和座委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 じゃ、私から1点。

17ページの図書館なんですが、一番下のところ、市全体として10万冊を目標としているということを先ほどお伺いしました。現状としては5万ということで、倍増ということを考えていらっしゃるんですが、ほかの地域の図書館を拝見しますと、先進的には何々の分野について特化して特徴ある図書を集めているであるとか、そういった方向性とかテーマみたいなものというのがあるかと思っております。これから倍増していく冊数が少ないというマイナスをプラスに捉えて、特徴づけていってはいかがかと思っております。どうしても分館全体、ほかのところを見せていただいても、平準化したラインナップであるというのは悪いことではないんですが、そのように感じるのが私の所感ですので、できれば、蔵書を増やしていくというところに当たって、何か目指す特徴とかテーマみたいなもの、あるいは重点的にこういうものを充実させていくんだみたいな目標みたいなものがあるのであれば、教えていただきたいなと思っております。

図書館長、お願いします。

図書館長 17ページ下段、東松戸地域館につきましては、こちらは令和3年12月に新しくオープンいたしました。こちらは単なる資料や情報の提供だけではなくて、課題解決支援や地域交流機能を担っており、その特色を打ち出そうと今取り組んでおります。ですので、その役割を十分に発揮できるような資料、一例ではあるんですけども、例えばビジネスに関する

本、あと起業の本、あと健康や医療、自分でセカンドオピニオンじゃないんですけども、関係する本を充実させてきております。

また、この施設は、2階に中高生の居場所の青少年プラザもございますので、中高生向けの資料についても、例えば高校や大学受験などの進路に関する資料も積極的に収集しております。ですので、来年度以降も引き続き、様々な年代がそれぞれに必要な資料を充実させていきたいと考えております。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

もしよかったら、何かより特徴を打ち出すような蔵書というものを想像して、皆さんで検討していただけたらありがたいと思います。

以上でございます。

次に参りたいと思います。

説明者が入れ替わりますでしょうか。

31ページ以降の視点に移りたいと思いますので、説明者の入替えをお願いします。

(説明者入替え)

教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

最後に、31ページ以降の視点Ⅱ－3と視点Ⅱ－4、視点Ⅲについて質疑、討論をお伺いします。

その前に、1枚、A4の差し替え資料がございましたので、そのご説明をお願いいたします。

金額の部分とか。

35ページ、36ページの市立松戸高校のところですか。

市立松戸高校事務長 差し替えをお願いしたいと思います。

説明は、35ページ上段、市立高校における教育環境整備の推進の事業内容の中のいろんな工事、設計委託が記載されていますが、その中の受変電設備改修工事が今回なくなりました。それによりまして、概算事業費が、棒読みで申し上げますと、366,034千円という数字に変更になりました。

またその下段、改革プランの推進を支えるICT環境整備についてなんですけれども、こちら事業内容のうちLL機器PC入れ替え、こちらがなくなりまして、概算事業費がこれに伴いまして変わりました、棒読みで4,670千円という数字に変更になります。

申し訳ございません。以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

それでは、山形委員、お願いします。

山形委員 2-3-1の全ての子どもたちの居場所づくりを目指す不登校支援の充実、児童生徒課のアウトリーチは続けていると思うので、その現状、どのようになっているか教えてください。もう一点、日中に通級することが困難な不登校の生徒が、夕方からでも学習することができる仕組みについて、現状どのようなことを考えていらっしゃるかというところを聞きたいです。

2点目が34ページの市立高校の部分で、大学進学をサポート体制の充実のところの、今までと変更して、いつでもどこでも学べる学習コンテンツの提供とありますが、スタディサプリア的なものなのかどうかというところの説明を聞きたいです。

市立高校の関係のところではプールの解体工事というのは、具体的にどんな時期で、その間、プールが使用できないところはどういうふうにかバリーするのか、タブレットの貸出しの予定数や、新入生はPCを全員購入する前提としての補助金になるのかというところになります。

最後に児童生徒課へ、スクールソーシャルワーク事業を生かした教育福祉と医療の連携の部分で、小金中が中心となっていくような形になっていくと思うんですけども、現状、結果的にソーシャルワーカー何名ぐらいが動いていくのかというところ、教えていただきたいです。お願いします。

教育長職務代理者 児童生徒課補佐、お願いします。

児童生徒課補佐 では、山形委員のご質問にお答えいたします。

まず初めに、31ページ、2-3-1、アウトリーチの件でございますけれども、こちらについては、我々児童生徒課の指導主事によるアウトリーチの訪問という形になります。

もちろん軽微なものから重篤な案件まであるんですけども、私たちとして、今年度の大きなものの実績として入れているのが、現状、小学校14校、中学校7校です。回数はまちまちでございますが、多いところだと1校に10回以上行って、いわゆる生徒指導面であったりだとか、そういったことについての支援のほうを実施しているという実績がございます。

それから、2点目ですけれども、夕方から学習することができる仕組みについてということについてお答えいたします。

現状、学籍はそれぞれ今所属をしている学校に置いたままであります。まずは児童生徒課

のほうで不登校相談として受理面談を当該の保護者の方に受けていただきます。その後、この先の教育支援センターのほうにつなげさせていただきます。教育支援センターの心理士と、お子さんであったり保護者の方の教育相談を実施します。心理士のほうから、本人の心理的状态を見ながらどのような支援が合っているのかということを検討します。もちろん心理相談だけの方もいますし、昼間の居場所につなげたりとかいうことも、当然選択肢の中にあると思います。その中で、夜間の学習に適正があり、本人、保護者が希望する場合に、みらい分校を見学して、みらい分校の授業を受けるということになります。その場合のコーディネーターの役割は当館の指導主事が務める予定、こういった形で計画をさせていただいています。

それから、少し飛ぶんですけども、37ページ、3-1のスクールソーシャルワーカーのことについても、ご一緒にお答えさせていただければと思います。

スクールソーシャルワーカーの配置ということで、現状をお答えさせていただきます。令和5年度は15名体制で、統括として本課に1名、拠点校として六実中、金ヶ作中、栗ヶ沢中にそれぞれ2名ずつ、それから和名ヶ谷中に3名、派遣型として、古ヶ崎分室に5名のスクールソーシャルワーカーを配置しております。

令和6年度に関しましては、拠点校の配置のバランスを考えまして、金ヶ作中学校の固定配置を廃止いたしまして、小金中に移転いたします。人員も3名増員し、六実中、和名ヶ谷中、小金中それぞれに3名ずつ、栗ヶ沢中に4名、派遣型の古ヶ崎分室に4名のスクールソーシャルワーカーを配置する予定でございます。

以上です。

山形委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 市立高校事務長、お願いします。

市立松戸高校事務長 34ページ下段、質問1点目、大学進学サポートの学習コンテンツの提供とは、スタディサプリのようなイメージかということですが、イメージはお見込みのとおりでございます。

2点目、35ページ上段の施設改修の件ですが、プールの解体工事後はどんな予定なのかということについて、一応、今現在全く利用はされていない状況ですが、解体の理由としましては、今プール水槽に水がたまっている状態で、その水がかなり濁っておりまして、夏になると悪臭だとか、またその濁りにより配管等の設備の劣化など、衛生面とか施設維持の観点から、今回解体するものでございます。

なお、解体後につきましては、一応更地となりますけれども、その利用としましては、例えば、うちの市立高校は部活動が盛んですので、ちょっとしたグラウンドの一部の使用や、また、多く試合会場として利用されることもあるので、駐車場の利用など様々な用途の活用を考えておりますけれども、今後のこの施設の計画の在り方を検討していきながら、有効的な活用方法を模索していきたいなと思っております。なので、ちょっとリカバリーというのではないですけれども、考えていきたいと思っております。

それと、35ページ下段、ICTの環境整備のまず1点目、タブレットは何台ぐらい購入予定かということですが、今回購入ではなくてリースになりますが、今現在、生徒用貸出し用端末機を48台整備しております。令和7年度にまた新たに48台を整備しまして、合計96台となります。なお、県立高校では、1校当たり約100台を配備している学校もございますことから、県立高校のレベルに後れを取らないような形で整備を進めていきたいなということで計上させていただいたものでございます。

最後、4点目、パソコン購入助成金の話ですけれども、本校では、情報モラル、または情報リテラシーの育成を図るとともに、主体的また対話的で深い学びを推進するために、令和6年度新入生より、本校が推奨する端末機の購入を、学校説明会を通じてお願いしているところでございます。今回の購入助成は、その購入に際しまして、生徒また保護者の費用の負担を軽減するために、その買っていただく端末機の保証経費に相当する額、上限で1万円となりますけれども、それに対して端末購入支援助成金を交付したいと考えております。ほかの高校にはない対応ですので、アピールポイントとなればと考えております。

以上です。

山形委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 ほかに。最後までで。

和座委員。

和座委員 まさに最後の部分なんですけれども、人権教育と啓発の推進というところなんですけれども、41ページ、一番最後です。そこで人権教育と啓発の推進というところなんですけれども、職員の方に対してこういったことを、人権問題について様々取組をしているというふうな話なんですけれども、たしか、各論に入るんですけれども、体罰ということについて、これを禁止するという法律ができて、日本もやっとようやくかなり遅れて国際的にもそういった国の一つになったということなんですけれども、いまだに体罰に関しては一般の人の中でも、まだそれが必要だというふうな認識もかなり多いようで、このことについて、たしか市立病

院の先生が、小橋先生が中心になりながら、市の職員を中心にそういった虐待に関してのネットワークの中で、そういった関連の職員の方たちに対して、実際に職員に対する研修会をしながら、広げていくという活動を聞いているんですが、そのことについて、実際にどういうふうにして進んでいるのかお聞かせいただければというふうに思います。

そしてまた、そこに書いてある松戸の人権擁護委員協議会との協力関係の構築と書いてありますが、具体的にどんなふうのことを構築していくように考えていらっしゃるのか。あるいはまたテーマで、人権研修会を開催なさったということなんですが、このテーマとしてどんなふうなテーマを実際に取り上げたのか、そのあたりちょっと教えていただければと思います。

教育長職務代理者 教育総務課長、お願いします。

教育総務課長 自分のほうからは、人権教育の関係で、まず最後にありました人権研修会の開催ですけれども、テーマとしましては子どもの権利条約ということで、千葉県のユニセフ協会の方に講師をお願いして、2月6日に予定をしていたのですが、講師の方の体調不良によりまして、今回は中止をさせていただいている状況でございます。今年度やるかどうかも含めて、今検討しているところでございます。

それからもう一点、松戸人権擁護委員協議会との協力体制の構築ということで、年に1回、教育長のほうにもご挨拶に見えて、学校教育部のほうを通じまして、学校のほうに作文ですとかいろいろと人権擁護委員さんの協議会のほうからお願いしたいこととかということがお話がございます。そういった連携を取ってやっているということでございます。

それからもう一点の、体罰の件は児童生徒課さんのほうでお答えさせていただきます。

教育長職務代理者 児童生徒課補佐、お願いします。

児童生徒課補佐 41ページの和座委員からご質問がありました体罰の研修のことについて、児童生徒課からお答えさせていただきます。

委員からありましたように、小橋先生のノー・ヒット・ゾーンの研修については、コア会議ということで、市長部局と教育委員会で連携して定期的な会議を開いていまして、教育委員会からは児童生徒課のほうに参加させていただいております。

具体的な体罰禁止の取組としては、市長部局では、まず乳幼児の集団検診等の場所から、そういうところの保護者の方がお子さんをしつけと称してたたいてしまうということを防ぎたいということを考えております。我々学校現場では、一番近いところだと就学時健診が想定されますので、本年10月に中央保健センターの保健師さんと一緒に、当課指導主事を

派遣しまして、同じプログラムでそういう集団検診の場での保護者による体罰というのか、なかなか落ち着いて座っていらっしやらないとか、複数のご兄弟がいて、そうでないと抑えられないというお子様にどうやってお声がけをするかというような研修に参加した次第でございます。

研修につきましては、生徒指導主任研修等で、医学系的な見地を取り入れたいということで、今、小橋先生と調整しております、うまくいくようでありましたら次年度も、お医者様等のそういった体罰だとか児童虐待に関する研修を取り入れたいというところで検討している最中でございます。

現状としては以上です。

和座委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 中西委員。

中西委員 33ページのタブレットPC導入の検証なんですけれども、これは継続案件だとは思いますが、アンケート項目も今年度見直されたんですか。これが現状でどういう形になっているのか、まとめられてはいないのかもしれませんが、少し内容を伺えればと思います、現時点の。

教育長職務代理者 教育政策研究課長、お願いします。

教育政策研究課長 タブレットPC導入の検証なんですけれども、今年で3年目を迎えて、1年ごとに報告書をまとめているところです。今年は有効性の検証ということと、それから普及のための手だてということで、有効性の検証につきましては、小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒さん。それから教職員、校長先生に、タブレットをどういうふうに使っていますかとか、そういうあたりのアンケートを毎年やっております。

その結果は、今手元にないんですけれども、徐々に使っているという方が伸びているところではあるんですけれども、まだまだ使い方の内容については、今後調整が必要なのかなというような現状が出ております。

それから、タブレット普及のための手だてにつきましては、今年度は文字入力の実証と、それから1年生へのログインの実証ということで、昨年度の実証結果から、1年生が最初にパソコンのスイッチを入れて立ち上げるまでのところに非常に負担があるということで、その負担をそういうふうには減らしていくのかという実証を行いました。いろんなやり方がありまして、パソコンのキーボードに順番のシールを貼ったり、あるいはシールではなくて、先生方のいろいろな指導方法を工夫するとか、そういうことでやっております。これについ

では指導課さんのほうと協力しまして、現場のほうに広めていきたいというふうに考えております。

あと文字入力につきましては、小学校高学年のお子さんでもローマ字入力が難しいというようなアンケート結果が出ておりましたので、ローマ字入力に限らず、あいうえお変換ですとか、あるいはフリック入力とか、様々な方法があるんだよということを授業の中でお知らせして、それで、自分に合った入力方法を取れるよということをお子さんに紹介する授業をやっているところでございます。また、それにつきましても、指導課さんのほうの指導の中で、そういうことを教えてあげてくださいというようなことも、現場のほうに広めていただいているところでございます。

以上です。

中西委員 そうすると、メリットの最大化ということなんですが、デメリットについては検証対象にはならないんですか。

教育長職務代理者 教育政策研究課長、お願いします。

教育政策研究課長 デメリットとして今思い浮かぶものがないんですけれども、あるとすれば、そこをどういうふうに改善していくのか。先ほどご紹介しました、1年生へのログインの方法が難しいのでなかなか利用につながらないというようなことがあれば、それについて検証をしていくというような形で繰り返していきたいと考えております。

以上です。

中西委員 どうしても使い過ぎるとか、子どもに渡してしまうというのが、あちこちで耳にするもんですから、ちょっと聞いてみたわけです。

教育長職務代理者 そういった視点も考えていただければと思います。

私から1点、39ページの下の美術品等のデジタルアーカイブ化の推進というところで、業務が大変な中にこれを組み込んで、2年度にかけて完成させるということで、本当にありがたいことだと思えます。

これはあくまでも意見ですが、全国的に博物館、美術館は収蔵庫が満タンで、収蔵できないという方向性が高まっているのが私は問題だと思っております。というのは、昔だけが収蔵がするべきものがあった、今がないわけではなくて、時間は常に進んでいて、その中で必ず何か本市に関係が深い必要なものというものが発生するわけで、収蔵庫が例えば難しいのであれば、時代がここまで変わってきたので、収蔵するべきだけれども現状難しいものに関して、デジタル化で収蔵していくというようなことも、先の概念として持っていて、

二次的な収蔵ということも先進的に考えてもいいのかなというふうに思います。ちょっと検討していただければありがたいと思います。

以上です。

ここまでは、そうしますと、質疑よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長職務代理者 それでは、これより別々に採決します。

議案第34号について原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものとして、議案第34号は原案どおり決定いたしました。

続きまして、議案第35号を採決いたします。

議案第35号については原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第35号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。少々お待ちください。

(説明者入替え)

教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

それでは、議案第36号「令和6年松戸市議会3月定例会の議案(補正予算)に対する意見聴取について」を議題といたします。

ご説明お願いいたします。

教育総務課長、お願いします。

教育総務課長 議案第36号「令和6年松戸市議会3月定例会の議案(補正予算)に対する意見聴取について」ご説明申し上げます。

本件の提案理由は、令和6年松戸市議会3月定例会に議案として提出を予定しております補正予算議案の作成に当たり、教育費について、中央教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づき、市長より意見聴取の申出があったことからご審議いただくものでございます。

別冊の補正予算書の1ページから2ページをご覧ください。

まず、歳入における増額、減額補正の主な利用といたしましては、各事業に対する事業費の確定に伴い、2ページになりますけれども、市債が各事業により増額及び減額となったためでございます。

続きまして、3ページから6ページをご覧ください。

歳出の減額補正の主な理由といたしましては、歳入と同様に、事業費の確定に伴うものや、事業の実施に伴い契約差金が生じたことに伴う減額補正となります。

増額の主な理由といたしましては、こちらも事業費の確定に伴うものや、国の補正予算対応による事業前倒しに伴う増額補正となります。

7ページから8ページの繰越明許につきましては、地方自治法第213条による歳出予算の経費のうち、年度内に事業が完成せず、支出が終わらない見込みのものについて、翌年度に繰り越して使用できる経費であり、その一覧を示したものです。

主な要因としましては、歳入でもご説明いたしました但、国の補正予算の成立に伴う補助事業に対応するために、来年度予定していた事業に対して先行して予算措置を行いますことから繰越明許となるものです。

ご説明は以上です。

なお、ご質疑につきましては、担当課から説明させていただきたいと思ひます。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

教育長職務代理者 議案第36号について、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

中西委員。

中西委員 簡単な質問です。この資料の5ページの一番下、博物館及び美術館費なんですけれども、電気料金、水道料金の話が書かれているんですけども、電気料金の高騰って、どれぐらい増えているのかは分かるでしょうか。

教育長職務代理者 文化財保存活用課長、お願ひします。

文化財保存活用課長 中西委員のご質問にお答ひいたします。

電気料金の高騰としての増額分は、およそ240万円程度でございます。残りは、先ほど申し上げました空調設備改修の前段階で行いました調査に伴いまして、水道代が多くかかりまして、その部分を含めましての合算で296万9千円の増額補正となっております。

以上です。

教育長職務代理者 よろしいですか。

7ページの繰越明許のところ、年度内が困難であるという事情は分かるのですが、おおよそこの先どのぐらいを予定していらっしゃるというような、工事完了のめどというのでもし分かればお伝ひさせていただきたいと思ひます。

学校施設課長 事業的には、どの事業。

教育長職務代理人 学校管理費。

学校施設課長 学校管理費の、はい。

教育長職務代理人 小学校施設。

学校施設課長 小学校施設、はい。

教育長職務代理人 学校施設課長。

学校施設課長 現段階では未定なのですが、令和6年度に繰り越すことによって、6年度中にはできるということになっています。

以上です。

教育長職務代理人 よろしいでしょうか。

ほかございますか。

(発言の声なし)

教育長職務代理人 ほかにご意見等ないようですので、これをもちまして議案第36号についての質疑及び討論を終結といたします。

これより議案第36号を採決いたします。

議案第36号については原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理人 ご異議がないものと認め、議案第36号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。少しお待ちください。

(説明者入替え)

◎報告第10号

教育長職務代理人 次に、報告第10号「臨時代理による処分の報告について」を議題といたします。

それでは、ご説明をお願いいたします。

社会教育課長、お願いします。

社会教育課長 よろしくをお願いいたします。

報告第10号「臨時代理による処分の報告について」ご説明いたします。

10ページをご覧ください。

本件は、公民館運営審議会について、その職務が社会教育委員会議において包含されており存置の必要性がないことから、これを廃止するため松戸市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定をする必要がございますが、教育委員会議を招集する時間的余裕がないことから、教育長に対する事務委任規則第3条の規定により、別紙のとおり臨時代理による処分をしたことを報告させていただくものでございます。

続きまして、次ページ、11ページをご覧ください。

臨時代理による処分書でございます。

内容につきましては、その次のページ、12ページの改正前後の表をご覧ください。

本条例の公民館運営審議会に関すること、第4条1項から3条と、委員長及び副委員長に関すること、第5条1項から4項を削除し、第6条から20条を繰り上げるものでございます。

ご説明は以上でございます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

報告第10号につきましては、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑に入ります。

ご質問、ご意見ございますか。

中西委員。

中西委員 要は、今なぜ廃止なのかということなのですが、この社会教育委員会議というものと公民館運営審議会というものが、共存していた期間がどれくらいあるのかが分からないので、その点をお伺いしたいと思います。

教育長職務代理者 社会教育課長、お願いします。

社会教育課長 社会教育委員会議と公民館運営審議会は、社会教育全般を審議する社会教育委員会議と、公民館の各種事業について審査をする会議と、目的が違ったものでございますが、松戸市には公民館は矢切公民館1館でございますので、矢切公民館が令和4年10月より民間事業者に窓口業務等運営を委託化されておまして、現在、職員は文化ホールにおります。なので、矢切公民館での事業というのは、文化ホールにいる社会教育課職員が出張して行っているという状況でございます。

また、本年度財政課による予算体系の見直しがございまして、令和6年度から公民館費は社会教育総務費で代わることになりました。そういったこともございまして、この機会に、社会教育委員会議の中で、矢切公民館の今後の在り方ですとか、そういった公民館事業全てを見ていこうということで、この時期に提案させていただいたところでございます。

以上でございます。

中西委員 分かりました。

教育長職務代理者 伊藤委員。

伊藤委員 内容的には問題ないと思いますが、これが手続として、なぜ急を要して臨時代理による処分となったのかというのがまだよく分からないんですけれども。今回この条例をなぜこの3月定例会に議案として出さなきゃいけなくなったのか、そのために臨時処分をしなきゃいけなかったのかというのが、その辺がよく分からないんですけれども。

教育長職務代理者 社会教育課長、お願いします。

社会教育課長 今この時期にというのは、先ほど申し上げましたとおり、公民館費から社会教育費へ予算科目の見直しがあったということがございますが、なぜ臨時代理によるということのご質問につきましては当初、教育委員会議の日程が2月7日であるというふうに認識しておりましたので、事務的な齟齬、があるということに気づきました。大変申し訳ありません。そういった理由で、今回ご提案させていただいているところでございます。

教育長職務代理者 7日ですと間に合ったけれども、今回、日にちがずれたら難しくなったということよろしいですか。

伊藤委員 何か今年度中に廃止しなきゃいけないのは、何でしたっけ。

生涯学習部長 生涯学習部長でございます。

社会教育課長から申し上げたように、臨時代理にさせていただいたのは事務的な手続の遅れ等がありまして、大変申し訳ございません。

ただ、今年度中ということに関しましては、昨年度で任期が、公民館運営審議会切れておりまして、先ほどの中西委員からのご質問にもありましたように、公民館の審議会と社会教育委員会議の重なりについては、数年来検討協議をしまいいりまして、その結果として、令和4年度に任期を満了していただいた後に、令和5年度に条例改正というような手はずで考えてはあったんですが、結果的には、すみません、教育委員会議のほうにはお諮りが遅くなってしまった。今年度中の廃止については、想定としてはさせていただいていたということと、あせまして、その予算上の措置も令和5年度をもって全て整えたいというのが事務局としての考えでございます。

伊藤委員 これまで社会教育委員とこの審議会は同じメンバーだったのですか。

生涯学習部長 いえ、メンバーは違います。

伊藤委員 メンバーは違う。

生涯学習部長 ちょっと遡って申し上げますと、10年ほど前までは公民館という課がございまして、矢切の公民館にも、先ほど申し上げたように職員がおりました。その後は非常勤職員等で一般的にやっていたところで、その後、社会教育課ですとか生涯学習推進課ですとか、そういったところでそれぞれ全体として社会教育事業を民間事業でやってまいりました中で、組織の改編等も途中に挟みまして、少しそういった審議会ですとかの整理といいますか統合等も必要であるということで協議した経過はございました。

伊藤委員 分かりました。

教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ほかにないようですので、これをもちまして報告第10号の審議を終結いたします。

以上で秘密会を終了いたします。

関係職員及び傍聴人の入室を許可いたします。

(関係職員及び傍聴人入室)

教育長職務代理者 ご報告いたします。

秘密会にて、議案第34号、議案第35号及び議案第36号については原案どおり決定し、報告第10号は承認されましたことを報告いたします。

本日予定していた議題は以上です。

それでは、議事進行を教育長にお戻しいたします。

教育長 お疲れさまです。

次回の教育委員会会議の日程についてです。次回の教育委員会会議は令和6年3月6日水曜日、午後1時30分より、教育委員会5階会議室で開催してはいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないようですので、次回、令和6年3月定例教育委員会会議は、令和6年3月6日水曜日、午後1時30分より、教育委員会5階会議室にて開催いたします。

◎閉 会

教育長 以上をもちまして、令和6年2月定例教育委員会会議を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 零時 15分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会教育長

松戸市教育委員会委員